

公 衆 衛 生 学

Public Health

教授(前) 加須屋 實 Minoru Kasuya
教 授 稲寺 秀邦 Hidekuni Inadera
助 教 授 寺西 秀豊 Hidetoyo Teranishi
助 手 青島 恵子 Keiko Aoshima
助 手 加藤 輝隆 Terutaka Katoh

◆ 著 書

- 1) Katoh T.: Tree-ring width of *Cryptomeria japonica* growing in Central Japan with special reference to snowfall pattern. In "Proceedings of the International Dendrochronological Symposium", Mitsutani T. (Ed.), 25-32, Independent Administrative Institution Nara National Research Institute for Cultural Properties, Nara, 2003.
- 2) 稲寺秀邦: 脂肪組織. 「スタンダード栄養・食物シリーズ3 人体の構造と機能 I. 解剖・生理学」近藤和夫, 脊山洋右, 藤原葉子, 森田寛編, 64-69, 東京化学同人, 東京, 2003.
- 3) 稲寺秀邦: 肥満. 「分子予防環境医学」分子予防環境医学研究会編, 368-377, 本の泉社, 東京, 2003.
- 4) 稲寺秀邦: 環境エストロゲン. 「分子予防環境学」分子予防環境医学研究会編, 571-578, 本の泉社, 東京, 2003.
- 5) Yasue K., Noda M., Kobayashi O., Sano M., Kato T., and Sweda T.: Dendroclimatological potential of *Abies spectabilis* at Khurpudada pass, Ganesh Himal, central Nepal. In "Proceedings 2002 International Matsuyama Workshop: Geothermal/Dendrochronological Paleoclimate Reconstruction across Eastern Margin of Eurasia", Yamano M., Nagao T. and Sweda T. (Eds.), 20, Matsuyama, 2003.

◆ 原 著

- 1) Inadera H.: Estrogen-induced genes, WISP-2 and pS2, respond divergently to protein kinase pathway. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 309:272-278, 2003.
- 2) Aoshima K., Fan J., Cai Y., Katoh T., Teranishi H. and Kasuya M.: Assessment of bone metabolism in cadmium-induced renal tubular dysfunction by measurements of biological markers. *Toxicol. Lett.*, 136:183-

192, 2003.

- 3) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 加須屋 實: 富山県におけるスギ花粉症初発症状の特徴 (2002年). 花粉症研究会会報, 14:17-23, 2003.

◆ 総 説

- 1) 稲寺秀邦, 松島綱治: 環境医学と現代生命科学の統合—社会医学系講座の役割—. 日本衛生学雑誌, 58:243-247, 2003.
- 2) 稲寺秀邦: 環境ホルモンの免疫・アレルギー系に及ぼす影響. アレルギー科, 16: 397-402, 2003.
- 3) 寺西秀豊, 藤崎洋子: スギ花粉症予防のための環境対策: 花粉暴露回避を中心に. 日本花粉学会会誌, 49:79-84, 2003.

◆ 学会発表

- 1) 稲寺秀邦, 松島綱治: Colon26 移植癌悪液質モデルにおける悪液質誘導因子の検討. 第73回日本衛生学会総会, 2003, 3, 大分.
- 2) 青島恵子, 樊 建軍, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 實: カドミウム環境汚染地域女性住民における尿細管障害の重症度と骨代謝異常との関連. 第73回日本衛生学会, 2003, 3, 大分.
- 3) Matsushima K. and Inadera H.: Risk assessment applied to endocrine-disrupting chemicals. International conference of risk management for preventive medicine, 2003, 3, Tokyo.
- 4) 青島恵子, 加須屋 實: 交替制勤務とナトリウム・クロール・カリウム代謝: 血清濃度, 尿中排泄率の検討. 第76回日本産業衛生学会, 2003, 4, 山口.
- 5) 稲寺秀邦: 内分泌かく乱物質 (環境ホルモン) の免疫・アレルギー系に及ぼす影響 (シンポジウム). 第15回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2003, 5, 横浜.
- 6) Aoshima K., Fan J., Uchida M., Katoh T., Teranishi H., Kasuya M. and Hagino S.: Renal tubular function and bone metabolism in 22 women with cadmium-nephropathy: a 15-year follow-up study. 1st Joint Meeting of the International Bone and Mineral Society and the Japanese Society for Bone and Mineral Research, 2003, 6, Osaka.
- 7) 寺西秀豊: 空中花粉調査にみる地球の温暖化. 第44回日本社会医学会, 2003, 7, 京都.
- 8) 寺西秀豊, 安藤 満: 「花粉症予防のための環境対策」について (シンポジウム). 日本花粉学会第44回大会, 2003, 10, 富山.

- 9) 寺西秀豊: 保健医療からのニーズ (シンポジウム). 日本花粉学会第44回大会, 2003, 10, 富山.

- 10) 寺西秀豊, 劔田幸子, 村上巧啓, 槻 陽一郎, 斎藤真己: 富山県におけるスギ花粉症発症と気候変動の関連性. 日本花粉学会第44回大会, 2003, 10, 富山.

- 11) 山田典子, 林 節男, 寺西秀豊: アレルギー性花粉からみた果樹園の作業環境. 日本花粉学会第44回大会, 2003, 10, 富山.

- 12) 林 節男, 下岡由美, 山田典子, 寺西秀豊: ナシ生産者のアレルギー自覚症状と花粉のIgE抗体検査の意義. 日本花粉学会第44回大会, 2003, 10, 富山.

- 13) 青島恵子, 加須屋 實: 一事業場男性社員における肥満発症の年代別特徴—肥満予防・保健指導のために—. 第46回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 2003, 10, 新潟.

- 14) 百合野秀朗, 石川 昌, 佐藤 卓, 伊藤利洋, 赤出川賢治, 北畠正大, 稲寺秀邦, 松島綱治: SLEマウスにおける自己抗体産生に対する環境ホルモンの影響. 第6回日本内分泌攪乱化学物質学会, 2003, 12, 仙台.

- 15) 百合野秀朗, 石川 昌, 佐藤 卓, 伊藤利洋, 赤出川賢治, 北畠正大, 稲寺秀邦, 松島綱治: SLEマウスにおける環境ホルモンの自己抗体産生への影響. 第33回日本免疫学会総会, 2003, 12, 福岡.

◆ その他

- 1) 稲寺秀邦: 化学物質のエストロゲン作用の評価—新規エストロゲン応答遺伝子WISP-2を用いた環境エストロゲン暴露評価系の確立—. 特定領域研究「内分泌攪乱物質の環境リスク」研究発表会, 2003, 1, 松山.

- 2) 稲寺秀邦: 特定遺伝子産物を用いた環境エストロゲン暴露評価系の確立と発癌機構の解析. 特定領域研究「内分泌かく乱物質の環境リスク」班会議, 2003, 7, 札幌.

- 3) 稲寺秀邦, 重 紅燕, 橋本真一: 化学物質のエストロゲン作用の評価—新規エストロゲン応答遺伝子WISP-2を用いた評価系— 内分泌かく乱物質. 第4回領域シンポジウム, 2003, 10, 東京.

- 4) 稲寺秀邦: 就任にあたって. 学園だより 富山医科薬科大学, 76.

- 5) 寺西秀豊: モントリオール大学空中生物学教室を訪問して. 花粉症研究会会報, 14:35-36, 2003.

- 6) 寺西秀豊: 新しい花粉研究分野—空中生物学— (特別講演). 石川県耳鼻咽喉科医会学術集会, 2003, 1, 金沢.

- 7) 寺西秀豊：花粉症の最新の疫学（特別講演）。
金沢市医師会，2003，7，金沢。
- 8) 近藤東郎，加須屋 実，青島恵子：健康管理学的立場からみた骨健診の意義（第9報）—尿中NTx簡易測定法の有用性に関する研究—。健康管理，2:21-23，2003。
- 9) 青島恵子：環境リスク評価。医報とやま，1340:10-13，2003。
- 10) 青島恵子：環境リスク評価。富山県医師会平成14年度第3回産業保健特定科目専門研修会，2003，3，富山。
- 11) 青島恵子：産業保健と地域保健の連携—産業保健の立場から—。平成15年度産業保健フォーラム，2003，8，富山。
- 12) 青島恵子：神通川流域住民のカドミウム曝露と腎障害—現状とこれから—。第22回イタイイタイ病セミナー，2003，11，富山。
- 13) 青島恵子：過重労働とその対策—長時間労働と健康への影響—。労働衛生管理研修会，2003，11，富山。

法 医 学

Legal Medicine

教授 滝澤 久夫 Hisao Takizawa
 講師(前) 小湊 慶彦 Yoshihiko Kominato
 助手 島田 一郎 Ichiroh Shimada
 教務職員 畑 由紀子 Yukiko Hata

◆ 原 著

- 1) Hata Y, Kominato Y, Takizawa H, Tabata S, Michino J, Nishino K, Yasuhara H, Yamamoto F.: Transcription starting from an alternative promoter leads to the expression of the human ABO histo-blood group antigen. *Transfusion* 43:656-662, 2003.
- 2) Yamamoto M, Yamamoto F, Luong TT, Williams T, Kominato Y, Yamamoto F.: Expression profiling of 68 glycosyltransferase genes in 27 different human tissues by the Systematic Multiplex RT-PCR (SMRT-PCR) method revealed clustering of sexually related tissues in hierarchical clustering algorithm analysis. *Electrophoresis* 24:2295-2307, 2003.

◆ 学会報告

- 1) 小湊慶彦，畑由紀子，松井健一，滝澤久夫：ABO式血液型遺伝子上流域に存在する転写抑制領域の解析。第87次日本法医学会総会。2003，4，富山。
- 2) 島田一郎，Carsten Hohoff，Steve Rand，Louai Abdin，Bernd Brinkmann：モロッコ人集団及びシリア人集団に於ける，15STR座の遺伝子頻度分布。2003，4，富山。
- 3) 小湊慶彦，島田一郎，畑由紀子，滝澤久夫，久保道也，桑山直也：硬膜動静脈瘻に基づく急性硬膜下出血の一例。第25回日本法医学会中部地方会。2003，10，岐阜。